

・・・新刊本紹介・・・

請求記号	本の名前	書いた人	出版社
007-オ	思い出をデジタル化して永久保存する本		洋泉社
016-イ	まちライブラリーのつくりかた 本で人をつなぐ	磯井純充	学芸出版社
134-ス	90分でわかるカント	ポール・ストラザン	WAVE出版
210-サ	太平記の世界 列島の内乱史	佐藤和彦	吉川弘文館
289-エ	森田実の一期一縁	森田実	第三文明社
318-ヤ	明快! 地方自治のすがた	山口道昭 出石稔	学陽書房
324-ケ	契約のしくみと契約書作成の基本	服部真和	三修社
327-コ	虚構の法治国家	郷原信郎 森炎	講談社
336-チ	小さな会社の「事務」と「書式」サンプル集129	河原大輔 河原宏海 西尾努	三修社
336-テ	データプレゼンテーションの教科書		日経BP社
366-ト	共働きファミリーの仕事と子育て両立バイブル	日経DUAL	日経BP社
468-タ	唱歌「ふるさと」の生態学 ウサギはなぜいなくなったのか?	高槻成紀	山と溪谷社
494-オ	リハビリ患者を支える人のための本	岡崎あや	同文館出版
527-ヒ	VINTAGE HOME		エクスタレッジ
547-ハ	50代からのSNS 人生が劇的に楽しくなる!	馬場寿実	地球丸
596-カ	クックパッドのおもしろ弁当&ゆるゆるキャラごはん	クックパッド株式会社	KADOKAWA
601-キ	知られざる日本の地域力	椎川忍	今井印刷
778-ク	映画俳優高倉健その素顔	遠藤努	音羽出版
778-ク	媚びない力	杉良太郎	NHK出版
780-ケ	女子の体幹レッスン 美しい身体になる筋肉のつけ方	広瀬統一	学研パブリッシング
782-カ	ラスト・ワン	金子達仁	日本実業出版社
914-ム	ゆるい生活	群ようこ	朝日新聞出版
B210-ホ	本当は怖い昭和30年代 『あの頃はよかった』は全部ウン!	キンマサタカ トライアングル	双葉社
B493-イ	苦海浄土 わが水俣病	石牟礼道子	講談社
BF-ウ	操の護り 御広敷用人大奥記録 7	上田秀人	光文社
F-7	島と人類	足立陽	集英社
F-7	ブラックオアホワイト	浅田次郎	新潮社
F-イ	死んでたまるか	伊東潤	新潮社
F-イ	火星に住むつもりかい?	伊坂幸太郎	光文社
F-イ	狗賓童子の島	飯嶋和一	小学館
F-オ	サーカスの夜に	小川糸	新潮社
F-カ	みずうみのほうへ	上村亮平	集英社
F-カ	刑事群像	香納諒一	講談社
F-キ	奴隷小説	桐野夏生	文芸春秋
F-コ	精鋭	今野敏	朝日新聞出版
F-コ	千日のマリア	小池真理子	講談社
F-コ	マル暴甘糟	今野敏	実業之日本社
F-シ	EVENA	椎名誠	文芸春秋
F-シ	少年探偵	小路幸也	ポプラ社
F-シ	世界で最初の音	白川道	KADOKAWA
F-タ	小説創業社長死す	高杉良	KADOKAWA
F-タ	図書館の魔女 鳥の伝言(つてこと)	高田大介	講談社
F-タ	保春院義姫 伊達政宗の母	高橋義夫	中央公論新社
F-ニ-4	くるすの残光 [4] 天の庭	仁木英之	祥伝社
F-マ	雨に泣いている	真山仁	幻冬舎
F-ミ	透明カメレオン	道尾秀介	KADOKAWA
F-モ	暗闇・キッス・それだけで	森博嗣	集英社
F-ヤ	桑港特急	山本一力	文芸春秋
F-ヤ	夢をまことに	山本兼一	文芸春秋
F-ヤ	翼を持つ少女 BISビブリアバトル部	山本弘	東京創元社
S217-コ	古代の住まい 平成26年度企画展	島根県八雲立つ風土記の丘	島根県八雲立つ風土記の丘
S454-イ	出雲の山・川・平野・海岸	成瀬敏郎・山内靖喜・武内正幸	高浜印刷

紹介しているのは2月に入った新刊の一部です。他にもたくさんありましたのでチェックしてみてください。

図書館にない本が読みたいときには、リクエストをしてください。他の図書館から借りるか、購入してお届けします。

隠岐の島町図書館通

読まんかね

隠岐の島町図書館

2015.3 Vol.118

〒685-0014
島根県隠岐郡隠岐の島町西町吉田の二 17-1
tel: 08512-2-2341 fax: 08512-2-9198
http://www.town.okinoshima.shimane.jp/toshokan/
e-mail: s-tosho@mx.miracle.ne.jp



・・・中村清志先生講演会・・・

2月14日に行われた中村清志先生の講演会には、38名の方が参加され、子どもと本の関わり、子どもに対する親の姿勢などについてお話を伺いました。

家庭に本がある環境の大切さや、親が本を限定せず子どもの読みたがる本を与えることで、多種多様な価値観と出会い学ぶことができることなど、自身の教師としての体験を元にお話いただきました。

長年子どもの気持ちに寄り添ってきた中村先生の熱い思いが伝わってくる講演会でした。



・・・蔵書点検報告・・・

2月に行った蔵書点検の結果、今年度行方不明になった本は、18点でした。

内訳

一般図書 4冊
児童図書 3冊
郷土資料 2冊
マンガ 9冊



万が一、貸出手続きをせずに持ち帰ってしまった本がありましたら、返却をお願いします。

また、期間中にはボランティアの方々に協力頂き、すべての棚と本の清掃を行いました。ご協力ありがとうございました。

ブックトークの会、開催日変更

4月からブックトークの会の開催日が変わります。お間違えないようご注意ください。

今まで：
月1回(毎月第1土曜日)



4月から：
年4回(6・9・12・3月の第1土曜日)
(変更することがあります)

ブックトークの会では、小学生(低・中学年)向けに、職員がその時々テーマにそって児童書を紹介します。

おもしろい本を探している子は来てみてね!

想像のつばさを広げよう！ストーリーテリングの世界



おはなし：宇田祥子さん（おはなしブリュッケン代表、しまねブックトーク研究会代表）

第1部

子どものためのおはなし会

子ども向けのストーリーテリング（絵本を使わず言葉だけで聞くおはなし）の会です。

ろうそくの明かりのなか語られる、昔話などのおはなしの世界を楽しんでください（対象：5歳～小学生）

3月21日(土) 14:00～14:30

特別編

のぞいてみよう！児童書の世界

ブックトーク ～こんな家に住んでいます～

宇田先生によるブックトークの実践です。「家」をテーマに、面白い本をたくさん紹介してもらいます。子どもの本が好きな方、ブックトークに興味がある方はぜひどうぞ！（対象：一般）

3月22日(日) 10:00～11:30

第2部

ストーリーテリングについて知ろう

& 大人のためのおはなし会

「ストーリーテリングってなに？」「耳で聞くお話にどんな意味があるの？」「絵本とはどう違うの？」と、疑問に思っている方に、ストーリーテリングとその効果などについてお話いただきます。

子どもの絵本やお話に興味がある方はどなたでも参加いただけます。（対象：一般）

3月21日(土) 14:40～16:30

～昭和の隠岐を知る～

『隠岐公論』 『隠岐タイムス』

昭和20年代から隠岐で出版された新聞『隠岐公論』（昭和29年～59年）『隠岐タイムス』（昭和26年～43年）が整理されて見やすくなりました。

当時の隠岐の出来事や、人の考え方などを知ることができる貴重な資料ですが、古いもののため抜けている号がいくつかあります。もしも、お持ちの方がいらっしゃいましたら、図書館までお知らせください。



隠岐アゴラ開催中！

隠岐アゴラは参加者がお気に入りの本を持ち寄り、その魅力を紹介しあう会です。本が好きな方、イベント好きな方、ぜひご参加ください。

毎月第2土曜日に行っています。

次回は…

4月11日(土) 14:30～



開館日カレンダー

色の日は休館日

3月							4月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7				1	2	3	4
8	9	10	11	12	13	14	5	6	7	8	9	10	11
15	16	17	18	19	20	21	12	13	14	15	16	17	18
22	23	24	25	26	27	28	19	20	21	22	23	24	25
29	30	31					26	27	28	29	30		

定例行事

- はじめてのえほん 毎週日曜日 10:30～
- おはなしのへや 毎週土曜日 15:00～
- おもちゃのへや 毎週金曜日 14:00～16:00

・・・ 展示コーナー & 特集コーナー ・・・

★展示コーナー

《共生学園第一保育所 子どもたちの作品展》

年少さんの折り紙、年中さんの造形、年長さんの絵と、保育所の子どもたちによる力作がそろっています。ぜひご覧ください。

期間 3月22日(日)まで

※年長さんの作品は3月14日(土)まで

場所 隠岐の島町図書館展示コーナー



★特集コーナー

《新聞連載小説》

新聞に載っている連載小説を読んだことありますか？毎日少しずつ進んでいくストーリーが楽しみです。

読売・朝日・毎日・日経・産経各誌の連載小説を集めました。



★えほんコーナー

《とり》

ホーホケキョ！ウグイスの声が聞こえてくるともう春ですね。鳥の本を見てみませんか？



・・・ 2月の利用状況報告 ・・・

	入館者数	貸出人数	貸出冊数	登録者数
26年度	3,809	1,153	6,212	11
25年度	3,506	1,250	6,641	20
比較	303	▲97	▲429	▲9

・・・ 2月によく読まれた本 ベスト10 ・・・

1位 熱風の日本史	井上亮	日本経済新聞出版社
2位 千春の婚礼	平岩弓枝	文芸春秋
2位 リハビリ患者を支える人のための本	岡崎あや	同文館出版
2位 疾風 Rond	東野圭吾	実業之日本社
2位 最高に贅沢な旅 憧れの寝台列車		JTBパブリッシング
2位 ウドウロク	有働由美子	新潮社
2位 悪足掻きの跡始末	佐藤雅美	講談社
2位 知らないとい損するシニア割引徹底活用ガイド	代事務所	双葉社
2位 マル暴甘糟	今野敏	実業之日本社
2位 虚構の法治国家	郷原信郎	講談社

・・・ 図書館職員オススメの一冊 ・・・

『年収200万円からの貯金生活宣言』横山光昭／著

ディスカヴァー・トゥエンティワン



早いもので、もうすぐ4月です。新年度、新生活です。入学や引越、就職などいろいろとお金がかかるシーズンでもあります。そうなるとう費にばかり目がいきがちですが、本当はこういうときこそ、お金ときちんと向き合うチャンスなのかもしれません。

「なぜかいつもお金がない」とか、「貯金できないのは収入が少ないから」と考えている人は少なくないと思います。この本では、そういう方を貯金体質にさせるための生活習慣や考え方の改善策を理論的に分かりやすく教えてくれます。

中でも印象に残った点がいくつかありました。

- ・貯める理由をハッキリさせる
- ・収入に占める適正割合を知る
- ・数日ごとに何度もお金を下ろす人は無計画。お金を下ろす日や頻度を決めておく。
- ・お金が貯められない人は冷蔵庫が汚い

お金を振り回されることは、生活や人生をもコントロールできないことにつながってしまいます。自分の生活を改善したい方や、貯金初心者、新社会人の方にオススメです。

今月は吉崎が紹介します！